

誰が景観を創るのか？

第13回

JCCA × JIA 協働シンポジウム

協働が生み出す 近未来のdesign

津軽ダムプロジェクト紹介

「津軽ダムについて

～ 白神の自然と人が出会う優しい新風景 ～

三浦 義昭 国土交通省岩木川ダム
統合管理事務所副所長

「津軽ダムの景観設計」

井上 大介 (株) 東京建設コンサルタント

パネルディスカッション

コーディネーター

北原 啓司 弘前大学大学院
地域社会研究科長・教授

パネリスト

三浦 龍児 西目屋村 政策推進室 室長

井上 大介 (株) 東京建設コンサルタント

川村 宣元 川村宣元建築設計事務所

進藤 勝人 (株) 八洲建築設計事務所

建設コンサルタンツ協会 美しい国づくり専門委員会と日本建築家協会 都市・まちづくり委員会は、これまで土木実務者と建築実務者の交流の場として、「誰が景観を創るのか」をテーマに、協働でシンポジウムを計 12 回開催してきました。

平成 30 年 9 月に開催した第 12 回の協働シンポジウムでは、建築・土木分野の「融合」への手掛かりとして、専門家が自身の想い(視座)を軸に計画・設計する時代ではなく、地元(利用者等)と関係を構築し、地元の価値(文化)を向上させる役割を担う時代であること。我々は個別の職能として存在しているのではなく、共通の社会的な期待を背負い何かを実現しなければならない職能を期待されており、協働していくべき存在であること。実現したい価値が多様性を有する時代に、個々の価値観を理解して協働を進める事でより良い方向に相乗効果が得られる。などの活発な議論が交わされました。

今回、「協働が生み出す近未来の design」をサブテーマに、津軽ダムを題材に建築・土木の協働の目指すべき方向性、美しい景観を創るための今後の展望、地域のまちづくり等への様々な波及効果について議論を行います。

令和元年10月18日(金)

9:30～11:30

弘前市民会館 中会議室

JIA建築家大会2019青森のプログラムとして開催

<https://jia2019hirosaki.com/>

他のプログラムにも興味のある方は、大会参加登録をお願いします。

*建設コンサルタンツ協会CPDプログラム/日本建築家協会CPDプログラム

参加者：建設コンサルタンツ協会会員、JIA 会員、一般市民、学生等

募集人数：80人程度

参加費：無料(参加申し込みは不要です)

問合せ・申込：一般社団法人建設コンサルタンツ協会 美しい国づくり専門委員会 / akiyama-tm@oriconsul.com

主催：一般社団法人 建設コンサルタンツ協会(JCCA) / 公益社団法人 日本建築家協会(JIA)

program

開演 9:30

開会あいさつ 9:30 - 9:35 JIA、JCCA 挨拶(趣旨説明)

津軽ダム 9:35 - 10:05 三浦 義昭(国土交通省岩木川ダム統合管理事務所副所長)

プロジェクト紹介 井上 大介(株式会社 東京建設コンサルタント)

10:05 - 10:15 休憩・ステージ転換

パネル 10:15 - 11:25 ●パネリスト 三浦 龍児氏(西目屋村 政策推進室 室長)

ディスカッション 井上 大介氏(株式会社 東京建設コンサルタント)

川村 宣元氏(川村宣元建築設計事務所代表、芝浦工業大学非常勤講師)

進藤 勝人氏(株式会社 八洲建築設計事務所 常務取締役)

●コーディネーター 北原 啓司氏(弘前大学大学院地域社会研究科長・教授)

閉会あいさつ 11:25-11:30

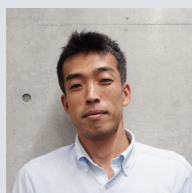


講演

三浦 義昭

国土交通省岩木川ダム統合管理事務所副所長

秋田県生まれ。東北地方整備局管内においてダム事業、河川事業、東日本大震災復旧事業など担当、2018年より現職。



講演／パネリスト

井上 大介

(株)東京建設コンサルタント

1998年東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻修了。株式会社アイエヌエーを経て、2013年より株式会社東京建設コンサルタント勤務。津軽ダム(グッドデザイン賞、土木学会デザイン賞最優秀賞)、内海ダム(土木学会デザイン賞最優秀賞)などダムの景観設計に携わる。



パネリスト

三浦 龍児

西目屋村 政策推進室 室長

1995年西目屋村役場・津軽ダム住民対策室配属、1996年から農林建設課へ配属となり建設部門を約8年間担当し、その後、議会事務局、総務課、税務会計課長・会計管理者などを経て、2016年10月政策推進室長に配属となり水陸両用バス運行を担当し、現在に至る。



パネリスト

川村 宣元

川村宣元建築設計事務所代表、芝浦工業大学非常勤講師

1954年東京生まれ。1977年芝浦工業大学卒業。内藤廣建築設計事務所副所長をへて2010年より現職。前職で旭川駅、日向市駅、苫田ダム管理棟など土木と建築の狭間を担当、現在、経験を生かし、丹生川ダム管理棟、美々津の堤防、長崎駅など担当



パネリスト

進藤 勝人

(株)八洲建築設計事務所 常務取締役

1960年青森市生まれ。1982年東海大学工学部建築学科卒業。同年、(株)八洲建築設計事務所入社。現在、プロポーザルで受注した庁舎、学校など公共事業を中心に手掛けている。



コーディネーター

北原 啓司

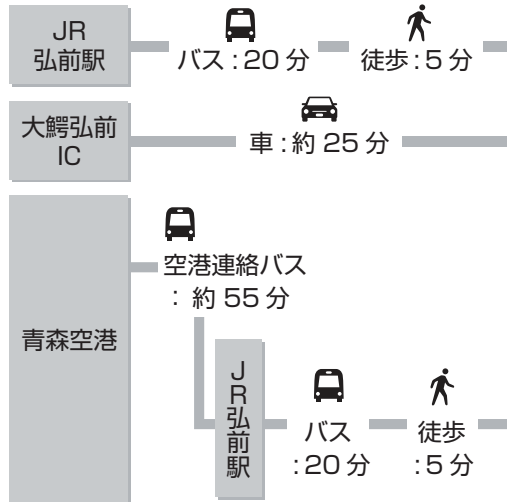
弘前大学大学院地域社会研究科長・教授

伊勢市生まれ。1985年東北大学大学院博士課程修了後、東北大学工学部建築学科助手。1994年から弘前市に移り、都市と建築とをつなぐ様々なフィールドワークに関する。都市計画や景観にかかわる自治体の委員長を務める一方で、建築設計コンペやプロポーザルの審査委員長あるいは事務局として公共施設建築にも関わる(青森県立美術館、十和田市現代美術館、八戸市新美術館、弘前市芸術文化施設ほか)。

map



access



弘前市民会館 中会議室2F

プロジェクト紹介後、コーディネーターを交えてディスカッションを行い、より深く理解する時間も予定しておりますので、両協会の会員にのみならず、様々な分野の方や学生、一般市民の方にもご参加いただき、広く議論していきたいと考えています。